

一般社団法人 日本口腔顔面痛学会 2022 年度事業報告書

自 2022 年 9 月 1 日 至 2023 年 8 月 31 日

一般社団法人 日本口腔顔面痛学会は、口腔顔面痛学に関する研究の進展及びその臨床応用についての研究発表、知識の交換、会員の生涯学習の援助並びに会員相互及び内外の関連学会との連携協力を行うことにより口腔顔面痛学の進歩普及を図り、我が国の学術の発展に寄与すると共に国民の健康と福祉の向上に貢献することを目的とする（定款第 3 条）。

これらの遂行のために、2022 年度（2022/9/1～2023/8/31）に以下の事業を実施した。

1. 学術大会の開催

第 27 回学術大会

2022 年 10 月 9 日（日）・10 日（月・祝）の 2 日間、第 27 回一般社団法人日本口腔顔面痛学会学術大会（大会長：大久保昌和）を日本大学松戸歯学部にて開催した。メインテーマは「LOOK INTO THE FUTURE」で、以下の特別講演、シンポジウム、リフレッシュセミナーなどが行われた。参加者数は 335 名であった。

（以下、敬称略）

特別講演

特別講演 慢性疼痛の病態とペインクリニック診療

座長：大久保昌和（大会長）

講師：佐伯 茂（太田総合病院麻酔科 顧問）

海外特別講演 Classification of BMS and beyond

座長：飯田 崇（日本大学松戸歯学部クラウンブリッジ補綴学講座）

講師：Prof. Peter Svensson (Aarhus University)

教育セミナー

教育セミナー 口腔顔面痛の臨床推論

座長：和嶋 浩一（元赤坂デンタルクリニック）

講師：鋪野 紀好（千葉大学大学院 医学研究院地域教育学）

講師：内田 貴之（日本大学松戸歯学部 歯科総合診療学講座）

講師：板橋 基雅（いたばしデンタルクリニック）

基礎シンポジウム 歯科麻酔科医の痛み研究

座長：篠田 雅路（日本大学歯学部 生理学講座）

演者：前川 博治（大阪大学大学院 歯学研究科高次脳口腔機能学講座）

演者：矢島 愛美（鶴見大学歯学部 歯科麻酔学講座）

演者：城戸 幹太（神奈川歯科大学 麻酔科学講座歯科麻酔学分野）

シンポジウム

シンポジウム 1 ボツリヌス毒素の可能性

座長：松香 芳三（徳島大学大学院医歯薬学研究部 顎機能咬合再建学分野）

座長：野間 昇（日本大学歯学部 口腔内科学講座）

演者：山本由弥子（岡山大学学術研究院 医歯薬学域病原細菌学分野）

演者：松香 芳三（徳島大学大学院医歯薬学研究部 顎機能咬合再建学分野）

演者：野間 昇（日本大学歯学部 口腔内科学講座）

シンポジウム2 痛覚変調性疼痛 nociceptive pain を理解する

座長：井川 雅子（静岡市立清水病院 口腔外科）

演者：井川 雅子（静岡市立清水病院 口腔外科）

演者：加藤 総夫（慈恵会医科大学神経科学研究部／痛み脳科学センター）

演者：北原 雅樹（横浜市立大学附属市民総合医療センター ペインクリニック内科）

シンポジウム3 学際的診療でメディカルスタッフはどう動くのか

座長：西須 大徳（愛知医科大学病院 疼痛緩和外科・いたみセンター）

演者：青野 修一（玉川大学工学部 ソフトウェアサイエンス学科）

演者：佐藤 今子（日本大学医学部附属板橋病院 看護部）

演者：井上 雅之（愛知医科大学 疼痛医学講座）

演者：西須 大徳（愛知医科大学病院 疼痛緩和外科・いたみセンター）

OFP 開業臨床医のためのコミュニティ (OCPD)

開業医における OFP 診療の課題解決に向けて

司会：池田 浩子（日野市立病院／静岡市立清水病院）

司会木津 真庭（鷹栖歯科）

開業臨床医のためのコミュニティ(OCPD) 活動報告

演者：飯沼 英人（風の杜歯科）

OFP 臨床情報共有の会 開催報告

第1回 口腔顔面痛診療のシステム構築

演者：瀬下 博嗣（すずき歯科クリニック）

第2回 開業医における口腔顔面痛診療の相談環境

演者：棚原 樹夢（棚原歯科）

演者：伏見 詩音（伏見歯科診療室）

口腔顔面痛認定医試験体験記

演者：石井 彩（山崎歯科クリニック）

演者：大歳 祐生（石井歯科医院）

開業医の専門医取得における現状と今後の展望について

演者：安倍 春菜（りゅう歯科クリニック）

演者：板橋 基雅（いたばしデンタルクリニック）

演者：木津 真庭（鷹栖歯科）

演者：山崎 英子（山崎歯科クリニック）

日本顎関節学会合同シンポジウム

米国 NASEM リポートから顎関節症と口腔顔面痛の将来を見通す

座長：小見山 道（日本大学松戸歯学部 クラウンブリッジ補綴学講座）

演者：大久保昌和（日本大学松戸歯学部 有床義歯補綴学講座）

演者：小見山 道（日本大学松戸歯学部 クラウンブリッジ補綴学講座）

演者：村岡 渡（川崎市立井田病院 歯科口腔外科）

演者：築山 能大（九州大学大学院歯学研究院 歯科医学教育学分野）

教育講演

教育講演1 口腔顔面痛に必要な頭痛の基本

座長：村岡 渡（川崎市立井田病院 歯科口腔外科）

講師：今井 昇（静岡赤十字病院 脳神経内科）

教育講演2 口腔顔面痛に役立つ精神薬理学

座長：伊藤 幹子（愛知学院大学歯学部 顎口腔外科学講座）

講師：山田 和男（東北医科薬科大学 精神科）

教育講演3 顎関節症アップデート 日本顎関節学会合同企画

座長：築山 能大（九州大学大学院 歯学研究院歯科医学教育学分野）

講師：西山 暁（東京医科歯科大学大学院 歯学総合研究科総合診療歯科学分野）

医療安全講習会 歯科医療と患者の人権 歯科専門医機構共通研修

座長：松香 芳三（徳島大学大学院 医歯薬学研究部顎咬合再建学分野）

講師：佐久間泰司（大阪歯科大学 医療安全管理学／ペインクリニック）

リフレッシュャーコース

リフレッシュャーコース1 口腔顔面痛診療の実際

講師：和嶋 浩一（元赤坂デンタルクリニック）

コメンテーター：坂本 英治（九州大学病院 口腔顔面痛外来顎顔面口腔外科）

リフレッシュャーコース2 筋筋膜痛

講師：左合 徹平（九州歯科大学 歯科侵襲制御学分野）

コメンテーター：石垣 尚一（大阪大学大学院 歯学研究科顎口腔機能再建学講座クラウンブリッジ補綴学分野）

リフレッシュャーコース3 口腔顔面痛に役立つ神経解剖学

講師：中松 耕治（飯塚病院 歯科口腔外科）

コメンテーター：金銅 英二（松本歯科大学 解剖学講座）

リフレッシュャーコース4 神経障害性疼痛

講師：河端 和音（鶴見大学歯学部 歯科麻酔学講座）

コメンテーター：今村 佳樹（日本大学歯学部 口腔内科学講座）

リフレッシュャーコース5 神経ブロック療法

講師：椎葉 俊司（九州歯科大学 歯科侵襲制御学分野）

コメンテーター：小長谷 光（明海大学歯学部 病態診断治療学講座歯科麻酔学分野）

リフレッシュャーコース6 痛みと心理

講師：土井 充（広島大学大学院 医科学研究科（歯）歯科麻酔学）

コメンテーター：渡邊 友希（昭和大学スペシャルニーズ口腔医学講座 顎関節症治療学部門）

リフレッシュャーコース7 口腔顔面痛の薬物療法

講師：福田 謙一（東京歯科大学 口腔健康科学講座障害者歯科・口腔顔面痛研究室）

コメンテーター：岡田 明子（日本大学歯学部 口腔内科学講座）

ランチョンセミナー

ランチョンセミナー1

座長・演者：島田 明子（長崎大学生命医科学域（歯学系） 歯科補綴学分野）

演者：Prof. Peter Svensson (Aarhus University)

ランチョンセミナー2 「アプリで学ぶ口腔顔面痛」を活用しよう

座長：佐々木啓一（東北大学）

演者：臼田 頌（慶應義塾大学医学部 歯科口腔外科）

2. セミナーの開催（セミナー企画運営委員会）

1) 口腔顔面痛診断実習セミナー

【会期】2022年8月25日（木）～9月8日（木）：オンデマンドによる事前学習

2022年9月11日（日）10:00～17:10：ZOOMによる実習セミナー

【会場】WEB開催（事前のオンデマンド動画視聴および当日のZoom実習セミナー）

【参加者】17名

2) 口腔顔面痛エキスパートセミナー

【会期】2022年11月24日（木）（予定）～12月8日（木）オンデマンドによる事前学習

2022年12月11日（日）10:00～15:15 ZOOMによる実習

【会場】WEB開催（事前のオンデマンド動画視聴および当日のZoom実習セミナー）

【参加者】15名

3) 口腔顔面痛精神医学セミナー

【会期】現地：2023年2月12日（日）10:00～16:00

オンデマンド：2023年3月6日（月）～2023年4月2日（日）

【会場】慶應義塾大学信濃町キャンパスおよびオンデマンド配信

【参加者】59名（現地21名、オンデマンド38名）

4) 口腔顔面痛ベーシック Web セミナー2023

【会期】2023年7月6日（木）～31日（月）

【会場】WEB開催（期間中のオンデマンド動画視聴）

【参加者】38名

（神経障害性疼痛関連学会合同シンポジウムは6. 2）参照）

3. 学会誌（学会誌編集委員会）

第15巻1号を2023年4月に冊子体およびオンラインにて発刊した。

4. 専門資格

1) 口腔顔面痛専門医、指導医、認定医の認定（専門医等認定委員会）

指導医、専門医、認定医試験を2023年5月28日（日）に行った。指導医、専門医、認定医更

新審査、研修施設審査を随時メール会議で行った。

合格者：指導医 0 名、専門医 3 名（うち筆記試験 2 名）、認定医 12 名

施設認定：研修施設 3 施設、準研修施設 2 施設

更新者：指導医 1 名、専門医 4 名、認定医 4 名

このほか 2023 年度および 2024 年度資格更新者（一部希望者のみ）の更新審査をし、有資格者に新認定証を交付した。

5. 研究の奨励および表彰

1) 研究の奨励（優秀論文賞委員会）

日本口腔顔面痛学会誌（14 巻 1 号）に掲載された論文の中から、優秀論文を一編選出した。

優秀論文の筆頭著者に対し、日本口腔顔面痛学会総会・学術大会にて記念品と楯を贈呈した。

「冷刺激による舌乾燥ラット三叉神経脊髓路核尾側亜核ニューロンの ERK のリン酸化」

中谷 有香, 岡田 明子, 野間 昇, 篠崎 貴弘, 小林 真之, 篠田 雅路, 今村 佳樹, 岩田 幸一

2) 優秀ポスター賞（ポスター賞推薦委員会）

第 27 回一般社団法人日本口腔顔面痛学会学術大会において優秀ポスター賞を選定した。

（以下、敬称略）

最優秀ポスター賞（基礎系）

相馬 千紘

口腔顔面領域の機械痛覚感受性に対する幼少期ストレスの影響

最優秀ポスター賞（臨床系）

山川 雄一郎

睡眠状態が覚醒時ブラキシズムの発現に及ぼす影響

優秀ポスター賞（基礎系）

尾辻 盛

雌における新生児期外傷後のアロディニア長期化に対する三叉神経脊髓路核尾側亜核の PPAR γ の役割

優秀ポスター賞（臨床系）

中谷 有香

三叉神経脊髓路核尾側亜核へ下行性投射する島皮質ニューロンの疼痛行動に対する役割

優秀ポスター賞（臨床系）

田所 壯一郎

熱条件刺激による BMS 患者の口唇部および前腕部の conditioned pain modulation 効果と不安傾向

優秀ポスター賞（臨床系）

左合 徹平

咬筋の関連痛発生・調節と下行性疼痛抑制系の関連

優秀ポスター賞（臨床系）

戸邊 昌子

顎関節症の機能時痛に対する、最適な開口訓練の強さの検討：ランダム化比較試験

優秀ポスター賞（臨床系）

高橋 香央里

難治性突発性口腔顔面痛における ADHD の併存（83.3%）と ADHD 治療薬による疼痛の改善

6. 国内交流事業

1) 国内疼痛系学会との交流（理事長）

痛みに関する課題の共有と方策について協議する目的で、日本疼痛学会、日本ペインクリニック学会、日本慢性疼痛学会、日本腰痛学会、日本運動器疼痛学会、日本ペインリハビリテーション学会、日本頭痛学会と設立した「日本痛み関連学会連合」を通じて、国内の疼痛団体と交流した。また以下の研究会が開催された。

第1回 痛覚変調性疼痛研究会 Nociplastic Pain Conference 2023

脳が生み出す痛みに立ち向かう（用語検討委員会ほか）

2023年7月30日（日） 13:00～17:00

東京慈恵会医科大学 西新橋キャンパス 大学1号館講堂

歯科における痛覚変調性疼痛

講師 井川雅子

司会・座長 大久保昌和

主催：東京慈恵会医科大学・痛み脳科学センター

共催：日本痛み関連学会連合用語委員会

後援：日本痛み関連学会連合

2) 神経障害性疼痛関連学会合同シンポジウム（セミナー企画運営委員会）

神経障害性疼痛関連学会合同シンポジウムを口腔顔面神経機能学会、日本口腔外科学会、日本歯科心身医学会、日本歯科麻酔学会、日本歯科薬物療法学会（五十音順）と合同で開催した。

2023年3月12日（日）ZOOMによる講演配信とディスカッションのライブ配信で実施した。

2023年3月14日（火）～4月14日（金）後日オンデマンド配信を行った。参加者数は57名であった。

3) 渉外活動（渉外委員会）

「慢性疼痛診療システムの均てん化と痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究」への参画として、全国8地区から委員を選出し、各地区の状況を会議にて共有した。その後、委員を中心に、各地区でのセミナー情報の収集を行い、会員に向けて発信した。

4) その他（理事長）

本学会の目的達成のため、国・官公庁、国内外の医歯学・医療関係団体との協力、協議を行った。

- ・日本歯科医学会
- ・日本歯学系学会協議会
- ・日本歯科医学会連合
- ・日本痛み関連学会連合 他

7. 国際交流事業（国際交流委員会）

- 1) 国際疼痛学会 (International Association for the study of Pain: IASP) および Special Interest Group of Orofacial Pain and Headache (SIG of OFPH)との交流。
- 2) アメリカ口腔顔面痛学会 (American Academy of Orofacial Pain: AAOP) との交流。
- 3) アジア口腔顔面痛学会 (Asian Academy of Orofacial Pain and Temporomandibular Disorders: AAOT) との交流。
- 4) 国際歯科研究学会 (International Association for Dental Research) の神経科学グループ (Neuroscience Group) および International Network for Orofacial Pain and Related Disorders Methodology (INFORM)との交流。
- 5) その他

8. 歯科医療の向上のための事業

1) 診療ガイドライン（ガイドライン作成委員会）

- ① ガイドライン呼称の見直しを行った。「非歯原性歯痛」の用語を使わずに「口腔顔面痛治療ガイドライン」または「特発性口腔顔面痛の診療ガイドライン」作成を目指す。
- ②ガイドライン改訂に必要な、現在必要と思われる OFP の CQ 収集準備を行ったところ、ガイドラインを作成するに十分な研究が不十分であったため、ガイドライン作成の前にスコーピングレビューを作成する方針となった。

2) 口腔顔面痛教育シラバス（シラバス委員会・用語検討委員会）

米国において Orofacial Pain が 12 番目の Dental Specialty に認定されたことから、我が国における口腔顔面痛学教育の充実と口腔顔面痛専門医の歯科専門医機構による認定に向けて、引き続き世界の卒前・卒後教育の動向について調査研究した。

3) 社会保険（医療保険委員会）

令和 6 年度診療報酬改定に向けて 1～3 の調査、準備を行った。

- ①医療保険関連事業：報告書作成時『口腔顔面痛に対する運動療法』の英文作成
- ②医療保険関連事業：報告書作成時『口腔顔面痛における定量的な咀嚼筋触診法の確立』の英文作成
- ③医療保険関連事業：報告書作成時『三叉神経ニューロパチーに対する光線療法についての調査研究』の英文作成

4) ICT の導入

1. 学術委員会 e-learning 検討部会

IASP 教育システム開発プロジェクトチームとの連携事業の継続および ICT 委員会と連携し e-learning 事業（アプリのコンテンツ作成など）を継続して行った。

2. ICT 活用推進委員会

- ・作製したアプリの広報、アプリを利用したセミナーの準備。
- ・Virtual Patients の充実化。E-Learning 開発。

- ・学術大会のセミナーの準備。
3. IASP 教育システム開発プロジェクトチーム
- ・コメディカルコンテンツ（入門編）の開発。
 - ・「アプリで学ぶ口腔顔面痛」の正式リリースへ向けての準備。
 - ・広報活動（第27回学術大会における展示ブースの設置、セミナー開催、プレスリリース）。
4. 日本歯科医学会プロジェクト研究チーム
- ・令和4年度日本歯科医学会研究費公募申請を行い、研究題名「口腔顔面痛診断補助ツールアプリケーションの開発とその臨床応用上での法的な整理」として採択された（日本歯科医学会プロジェクト研究2022-B-5）。
 - ・承認予算は、700万円（令和4年260万円、令和5年440万円）
 - ・メンバー：研究代表者：松香芳三理事長
研究分担者：臼田 頌、村岡 渡、小見山道、佐々木啓一、西須大徳、野間 昇、島田明子
 - ・研究計画の詳細を決定し、アプリケーションの開発と法的な問題点の抽出を行った。
- 5) 臨床研究（学術委員会臨床研究検討部会）
- 学会として以下の臨床研究を検討・実施した。
1. 口腔顔面痛疾患のWEBによる臨床統計
 2. 口腔顔面痛患者の実態調査と慢性難治性口腔顔面痛の多面的病態評価における多機関調査
- 6) その他
1. 学術委員会 CBT 部会
 - ・口腔顔面領域における各疾患の認知行動特性について検討した
 - ・認知行動療法の治療補助ツールを作成して、口腔顔面痛認知行動療法セミナーの開催を目指して活動した
 2. 精密触覚機能検査研修委員会
 - ・精密触覚機能検査研修の普及と維持を目的とし、精密触覚機能検査研修協議会と連携して、研修活動を行っていくため委員会が設立された。委員会は、福田謙一理事が担当理事となり、今村佳樹監事を中心に、大久保理事が委員長、オブザーバーに松香理事長、小見山理事、村岡理事で構成された。各地区の責任者を今後委員として活動する計画とした。

2022年度の活動実績は下記の通り。

 - ①2022年度第1回精密触覚機能検査研修会
 - 【会期】2022年6月5日（日）12:00～14:00
 - 【会場】九州大学歯学部講義室C
 - 【参加者】15名
 - ②2022年度第2回精密触覚機能検査研修会
 - 【会期】2022年6月19日（日）11:00～13:00
 - 【会場】奥羽大学歯学部附属病院2階会議室
 - 【参加者】5名
 - ③2022年度第3回精密触覚機能検査研修会

【会期】2022年6月26日（日）12:00～14:00
【会場】岡山大学鹿田キャンパス Jホール（Junko Fukutake Hall）
【参加者】18名

④2022年度第4回精密触覚機能検査研修会

【会期】2022年6月26日（日）12:00～14:00
【会場】日本大学歯学部口腔内科学講座医局（歯科病院6階）
【参加者】9名

⑤2022年度第5回精密触覚機能検査研修会

【会期】2022年7月10日（日）13:00～15:00
【会場】愛知医科大学病院（アメニティ棟交流ラウンジ「立石プラザ」3階）
【参加者】2名

⑥2022年度第6回精密触覚機能検査研修会

【会期】2022年7月17日（日）10:00～12:00
【会場】大阪歯科大学附属病院（西館5階 ゼミ室②）
【参加者】10名

⑦2022年度第7回精密触覚機能検査研修会

【会期】2022年11月4日（金）17:00～19:00
【会場】幕張メッセ国際会議場3階 302会議室
【参加者】66名

⑧2022年度第8回精密触覚機能検査研修会

【会期】2022年12月18日（日）10:00～12:00
【会場】日本大学歯学部附属歯科病院第二会議室（6階）
【参加者】23名

⑨2022年度第9回精密触覚機能検査研修会

【会期】2023年1月29日（日）10:00～12:00
【会場】大阪大学大学院歯学研究科F棟5階 弓倉記念ホール
【参加者】25名

⑩2022年度第10回精密触覚機能検査研修会

【会期】2023年1月29日（日）13:00～15:00
【会場】大阪大学大学院歯学研究科F棟5階 弓倉記念ホール
【参加者】32名

⑪2022年度第11回精密触覚機能検査研修会

【会期】2023年3月19日（日）12:00～14:00
【会場】福岡県歯科医師会館 第4会議室
【参加者】21名

9. 広報事業（広報委員会）

- 1) ホームページの管理業務における運営体制の検討

- 2) ホームページ全面改訂に向けての検討（アプリとの連携を含む）
 - 3) ホームページおよびメーリングリスト、ニュースレターでの情報開示
 - 4) 医療関係者および国民に対して、当学会とその医療内容に関する情報を広く周知させるための広報
 - 5) 非歯原性歯痛と特発性口腔顔面痛の医師・歯科医師および国民への積極的な広報
 - 6) IASP 教育プロジェクトの広報
 - 7) その他
- 上記活動を行った。

10. コンプライアンス・ガバナンス

- 1) コンプライアンス順守（倫理委員会）

本学会が広くステークホルダー（患者、医療従事者、研究者、会員および社会）に貢献すべき重大な責務を負っていることを認識し、コンプライアンス順守活動を積極的に行った。
- 2) 会員の倫理向上（倫理委員会）

倫理委員会が所管する審議事項は生じなかった。
- 3) 会員の利益相反（利益相反委員会）

会員の利益相反開示が適切に行われる活動を行った。
- 4) 個人情報の管理（理事長）

学会の収集した個人情報を適切に取り扱う活動を行った。
- 5) 規定の整備・新規作成（規程検討委員会）

必要に応じて、各委員会から提案された各種規程の整備、および新規作成を行った。
- 6) その他

11. 会議の開催（総務担当理事）

2022年度は以下の会議を実施した。

1) 理事会・評議員会

2022年度 第1回 臨時理事会 2022年10月8日(土)

- 第1号議案 2021年度事業報告について（村岡総務担当理事）
 - 第2号議案 2021年度決算報告について（小見山財務担当理事）
 - 第3号議案 2022年度事業計画について（村岡総務担当理事）
 - 第4号議案 2022年度予算案について（小見山財務担当理事）
- 上記が承認された。

2022年度 第1回 臨時評議員会 2022年10月8日(土)

- 第1号議案 2021年度事業報告について（村岡総務担当理事）
 - 第2号議案 2021年度決算報告について（小見山財務担当理事）
 - 第3号議案 2022年度事業計画について（村岡総務担当理事）
 - 第4号議案 2022年度予算案について（小見山財務担当理事）
- 上記が承認された。

2022年度 第1回 定時理事会 2022年11月1日（火）

- 第1号議案 2021年度事業報告の承認（村岡総務担当理事）
 - 第2号議案 2021年度決算報告、監査報告の承認（小見山財務担当理事、今村監事）
 - 第3号議案 2022年度事業計画の承認（村岡総務担当理事）
 - 第4号議案 2022年度予算案の承認（小見山財務担当理事）
 - 第5号議案「定款における会員、準会員の変更案について」
 - 第6号議案「定款・規定における理事数の変更案について」
- 上記が承認された。

2022年度 第1回 定時評議員会 2022年11月18日（金）

- 第1号議案 2021年度事業報告および承認の件（村岡総務担当理事）
 - 第2号議案 2021年度決算報告、監査報告および承認の件（小見山財務担当理事、今村監事）
 - 第3号議案 定款における会員、準会員の変更案について（村岡総務担当理事）
 - 第4号議案 定款・規定における理事数の変更案について（村岡総務担当理事）
 - 第5号議案 名誉会員について（理事長）
- 上記が承認された。

2022年度 第2回 臨時評議員会 2022年12月23日（金）

- 第1号議案 定款・規定における理事数の変更案について（村岡総務担当理事）
- 上記が承認された。

2022年度 第2回 定時理事会 2023年8月24日（木）

- 第1号議案 2023年度事業計画承認の件（村岡総務担当理事）
 - 第2号議案 2023年度予算案承認の件（小見山財務担当理事）
 - 第3号議案：専門医・指導医・認定規定 条文修正の件（佐久間副理事長）
 - 第4号議案：新規入会者の承認の件（村岡総務担当理事）
 - 第5号議案：社員総会の開催の件（村岡総務担当理事）
- 上記が承認された。

2022年度インターネット理事会開催

- ・第1回 2022年10月13日 18:24 発議-10月20日 18:50 承認
 - 第1号議案 他団体との共同開催等に関する規程、申し合わせ、申請書、承認の件

上記が承認された。
- ・第2回 2022年11月25日 8:43 発議-12月2日 19:48 承認
 - 第1号議案 理事数の定款・規定変更の件

上記が承認された。
- ・第3回 2022年12月19日 18:50 発議-12月26日 19:48 承認
 - 第1号議案 専門医等規定の修正の件

上記が承認された。
- ・第4回 2023年1月31日 17:50 発議 - 2023年2月13日 8:47 承認
 - 第1号議案 慶弔規定改訂の件

上記が承認された。

- ・第5回 2023年4月28日 8:29 発議 - 2023年4月28日 19:06 承認
第1号議案 精密触覚機能検査研修委員会（仮称）の設立について
上記が承認された。
- ・第6回 2023年4月25日 8:51 発議 - 2023年5月28日 8:56 承認
第1号議案 専門医等認定に関する規定の改訂について
上記が承認された。
- ・第7回 2023年5月9日 18:30 発議 - 2023年5月16日 18:30 承認
第1号議案 口腔顔面痛セミナーに関する申し合わせの改訂について
上記が承認された。

2) 各委員会

本学会が目的とする事業を達成するため、各委員会を開催した（インターネット開催を含む）。

1 2. 社員選挙及び理事選挙の開催（選挙管理委員会）

評議員選挙を実施した。評議員選挙は研修機関（研修施設）評議員 16 名（定員に満たず全員当選）、一般評議員 35 名が選出された。

1 3. 本学会の社会的地位向上のための活動（理事長）

1) 広告のできる専門医

広告のできる専門医の資格取得のため、会員の増加を図った。

2) 日本歯科医学会専門分科会

専門分科会加入に向け準備を行った。

3) 日本歯科専門医機構（専門医機構申請準備委員会）

同機構について情報収集をした。

1 4. 会員の顕彰

1) 名誉会員の推挙（理事長）

本学会の発展のために特に顕著な功績のあった会員の検討を行い、以下 2 名が推挙された。

今村佳樹、佐々木啓一（敬称略）

2) 功労会員の推挙（学会特別功労賞推薦委員会）

これまでに退職され、本学会に多くの貢献をなされた会員の中から以下 3 名の功労会員を推戴した。

今村佳樹、佐々木啓一、和嶋浩一（敬称略）

1 5. 会員数

(2023年8月31日現在)

1. 正会員 836 名
2. 準会員 76 名
3. 法人会員 0 社

4. 名誉会員 10 名
会員数合計： 922 名

16. その他

その他、目的達成のために必要と認められる事業を行った。

以上